



通路の両側に花々を植える生徒＝奈良市朱雀2の平城高校

学校内を 花で彩り

平城高

生徒ら植栽活動

ボランティアが
アドバイス

奈良市朱雀2丁目の県立平城高校（森田好博校長）は、環境緑化に取り組み「グリーンアクション平城」を実施。同校1、2年の美化委員と生徒会役員約40人が、地元朱雀地区のボランティア4人と共に草花の植栽活動を行った。

奈良

同校の「地域とともにある学校」づくりの一環。長年同校に関わっているボランティアが、同校生徒に花々の植え付け方などをア

ドバイスした。

はじめに、同ボランティアの代表、本井健一郎さん（71）が「花々で学内を美しく穏やかに保ちたい。そ

れらの日々のわずかな違いにも気付いてほしい」とあいさつ。生徒たちは、玄関前や校門からの通路の両側に、穴

を掘り、培養土を入れ、花の根をほぐして植え付けた。また、校門前のプランターや、ハンギングバスケットの土を入れ替えて、新しく花を植えた。今回植え付けた花は、ハンジ、アネモネ、ラベンダー、ネメシヤ。2年美化委員の中村優花さん（16）は「草花を見るのが好き。通路が美しくなったので通学時が楽しみ」と語った。